

★★★★

奥村政治のメールマガジン

第 18 号:2022 年 2 月 8 日発行

<https://www.1project-support.com>

★★★★

へろへろになるまで量稽古(その 1)

おはようございます。おくむらです！

今回はへろへろになるまで、身体や頭を追い込むことについて。そこまでやって終わりではなく、そこがスタートラインなんですよね。そのことを、私の大昔の事例を使ってお伝えします。

高校生の時、ゴルフに、超ハマっていました！

よく行く練習場には「2 階は打ち放題 1,500 円」という特典があり、私は 2 階で練習しておりました。練習場代は昼食代を削って捻出しておりました(笑)。

ある時「プロゴルファーは 1 日に 1,000 球打っているらしいので、一度体験してみよう」と思いつきました。

中間試験が終わり、午前中に学校が終了。速攻で帰宅してからキャディーバッグを肩にかけ、自転車で練習場に向かいました。

途中、パン屋さんで昼食のパンを買いました。飲み物は練習場の自動販売機で調達。

受け付けで 1,500 円を払ってから「コインを 20 枚ください」とお願いしました。受付のおばちゃんが怪訝そうな表情でしたね(苦笑)。コイン 1 枚を機械に入れると 50 球のボールが出てきます。1,000 球打つので 20 枚というわけです。

さて、2階に移動して、いつもの打席(ど真ん中)に陣取ります。ジュースを買ってきて、パンを食べて腹ごしらえ。時間はお昼前でしたので、2階には誰もいません。左手に手袋をはめ、準備運動を開始。打ち始めました。

最初はサンドウェッジで30ヤードのアプローチ。高い球、低い球、いろいろなパターンのショットを打っていきます。フィーリングがイイ感じで、目標としている場所にピタピタ寄ります(笑)。

この後、ピッチングウエッジ、8番アイアン、6番アイアン、4番アイアンと番手を上げていき、4番ウッド、ドライバーを打ち、最後はサンドウェッジで締めるというパターンでした。

通常なら200球くらいで終わりですが、今日は違います。ちなみにその当時、ウッドクラブはチタンやステンレス等の金属ではなく、本当に木製(柿の木:パーシモン)でした。若い人は知らないだろうね(笑)。

さて、御多分に洩れず、僕のスイングはあるトッププロの真似をしていました。アドレスは良いとして、トップやフィニッシュなども、練習場にある大きな鏡の前でチェックしていました。分かりやすくいえば「カッコつけていた」わけです。

カッコつけたスイング、練習場で200球程度であれば、崩れることなくキープできます。しかし、今日は1,000球チャレンジの日です。この後、どうなっていくのでしょうか？

この続きは次号にて(笑)！

=====

オクムラ経営コンサルティングオフィス

メルマガ編集部

発行人: 中小企業診断士 奥村政治

〒571-0047 門真市栄町 6-9 門真プラザ 610 号

TEL: 06-6991-9627

メール: info@1project-support.com

<https://www.1project-support.com>

=====